

大阪府立大学に対するマーケティング・リサーチ結果(概要)

【調査方法】

- (1) 府民を対象としたインターネット・アンケート調査(実施期間:平成21年5月25日～26日)
調査方法:ヤフー・バリュー・インサイトパネル/ヤフーリサーチパネルを利用したインターネット調査
調査対象:25歳以上の府民 ※学生を除く 1000サンプル
- (2) 府立大学実施の卒業生採用企業アンケート調査(実施期間:平成20年4月1日～22日)
調査方法:郵送配布・回収 調査対象:過去5年間で採用実績がある法人(含、病院)の人事担当者
配布・回収数:700サンプル 総回収数:119サンプル(回収率 17%)
- (3) 府立大学実施の産学連携活動に関するアンケート調査(実施期間:平成20年4月1日～22日)
調査方法:郵送配布・回収
調査対象:過去2年間の産学連携先(受託・共同研究・奨励寄附金)でかつ研究費規模が大きい企業の窓口担当者
配布・回収数:300サンプル 総回収数:189サンプル(回収率 63%)
- (4) 府立大学新入生を対象としたアンケート調査(実施期間:平成21年4月2日～3日)
調査方法:新入生ガイダンス時に配布・回収 配布・回収数:1495サンプル
総回収数:1416サンプル(回収率 92.3%)
- (5) 府立大学実施の卒業生アンケート調査(実施期間:平成20年3月)
調査方法:WEBアンケート
調査対象:過去2年間の卒業生のうちアクセス可能なもの(同窓会経由で回答依頼)
配布・回収数:2,000サンプル 総回収数:262サンプル(回収率13%)

【1】納税者の視点（府民を対象としたインターネット・アンケート調査結果を基に作成）

【府民が求める大学像】

- 大阪にあってほしい大学としては、「できるだけ安い授業料で多くの学生に大学教育の機会を与える大学」（20.3%）が最も多く、大学の「大衆化」、特に「教育分野の大衆化」を期待する傾向が強かった。
- 一方、納税者として公立大学に期待するイメージでは、「新しい技術や製品の開発を通じて地域経済に貢献する大学」（23.4%）が最も多く、「研究分野の大衆化」を期待する傾向にシフトしている。
- なお、「大阪に大学はなくてもいいと思う」は1.0%、「大阪に「公立大学」はなくてもいいと思う」は1.3%という回答結果であった。

【府立大学の認知度】

- 9割5分以上の回答者（「全く知らない」（3.5%））が府立大学を認知しているが、「名前だけなら聞いたことがある」層が4割を占め、認知の質は高いとはいえない。ただし、府大への理解が高まるほど、府大への印象・イメージで肯定的な回答が高まる傾向がみられる。

【府立大学への期待の達成度】

- 公立大学に対する府民からの期待が特化している①「新しい技術や製品の開発を通じて地域経済に貢献する大学」、②「できるだけ安い授業料で多くの学生に大学教育機会を与える大学」、③「地域に密着して研究や学問の成果を社会にわかりやすく伝える大学」の3項目のうち、②と③については府立大学のイメージについても同様の高い特化が見られたが、①はギャップが見られた。

【2】企業の視点 (府立大学実施の卒業生採用企業アンケート調査結果、府立大学実施の産学連携活動に関するアンケート調査結果を基に作成)

【企業への人材面での貢献】

- 府立大学卒業生の能力への企業評価は、社会一般の若手社員(※)に比して、「主体性」や「課題発見力」といった創造的な能力など企画・技術開発系社員に適合した能力に対する評価が高くなっている。

※社会人基礎力調査：経済産業省による一般の若手社員を対象とした調査

【産学連携のきっかけ】

- 産学連携のきっかけは、「教員等との個人的な人脈」(59.8%)や「学会発表や論文をみて」(31.7%)が多く、教員個人の能力に依る傾向があり、組織的なアプローチが求められる。

【産学連携の評価】

- 企業のリピート意向(「積極的に連携をしていきたい」を規模別に見ると、大企業(総従業員1,001人以上)の方が高い。(総従業員数:1,000人以下(58.3%)、1,000人以上(69.2%))

【3】都市の視点 (府立大学新入生を対象としたアンケート調査結果、府立大学実施の卒業生アンケート調査結果を基に作成)

【府立大学の人材育成機能】

- 仮に府立大学が大阪に立地しなければ、現在の府立大学生の府内出身者の5～6割が府外に流出し、府外出身者の7割が府内に流入しないと推定される。
- 入学生(出身地)・卒業生(就職先)の地域動向を見ると、府立大学全体としては「地域密着型」というより「全国型」に分類できる。学部別では工学部は入学卒業共に府外割合が高い「全国型」に、看護・福祉系学部は「地域密着型」に分類できる。

【4】学生の視点（府立大学新生を対象としたアンケート調査結果、府立大学実施の卒業生アンケート調査結果を基に作成）

【受験生の志望動機】

- 府立大学を選択するにあたって、「学びたい分野の教育・研究内容」、「入学料・授業料の負担」、「公立大学というブランド」などが強い動機となっている。

【教育サービスへの満足度】

- 府立大学の教育サービスに対しては、「専門教育」への高い満足度が見られた。一方、「生活支援」、「就職支援」などは満足度が低く、学生からは、その改善が総合的な満足度のアップに重要な項目となっている。